



令和8年度
天草市立稜南中学校
学校だより



令和8年7月17日

第6号

文責 校長 松原 康近

ICT機器の活用で 学力アップ! 生きる力アップ!

今年度、稜南中学校は「生成AIパイロット校事業」及び「GIGAスクールプロジェクト」の研究指定校となっています。タブレット（学習用端末）などのICT（情報通信技術）機器を効果的に活用し、子どもたちの学力向上と、我々指導者の授業づくりの充実を目指した研究を進めているところです。

そこで、天草市から生徒一人一人に配付されているタブレット端末を使った授業や家庭学習等の実践を進めているところです。この夏休みも家庭への持ち帰りを実施いたします。

実は、これまで、そのタブレット端末の「私的利用」や「不適切接続」があったので、全校集会を開き、適切な使用について確認しました。タブレット端末は「天草市が貸し出している」こと、「小中学生の学力向上のためなら、ということで市民の皆さんの税金で購入されている」ことを伝えました。

不適切な使用がいけないことは知っていたと思います。そんなつもりじゃなかった人もいることとは思いますが、意図的に不正接続を試みた生徒もいたようです。「分かっていたのにやってしまった」という点についてもしっかりと振り返ってほしいですし、「理性を働かせられるようになってほしい」と思いました。

子供たちの中には、“自分専用のスマホ”等を持っている生徒もいることと思います。現代は、SNSに係る問題や事件が多くなっています。自他の命や安全を守るためにも、今後も情報モラル、ルールの順守など、学校、家庭の両方で推進していければと思います。

元々は、ICT機器や生成AIは“生活を便利にするため”のもののはずです。うまく使えば、学力の向上につながります。また、この情報社会を生き抜くうえでも、これらの活用は避けて通れません。この利点を最大限生かして、子供たちに学力、そして「生きる力」を付けていきたいと思えます。

楽しんだことと思います! おやじの会読み聞かせ

昨日（7月16日）は、朝自習の時間に天草おやじの会の皆様に読み聞かせをしていただきました。なかよし学級の2、3、4組は、一昨日



（15日）に実施していただきました。

実施していただいている様子をうかがいましたが、みんな引き付けられて、楽しんでいる姿が見られました。

隊形や本の提示の仕方など、それぞれの方々が工夫をされ、本選びをはじめ、しっかり用意をしてきていただいたことが伝わりました。

情操教育の観点からも、読書推進の視点からも、そして、「子供たちのために」と準備やスケジュール調整をしていただいたおやじの会の皆様の思いやりの心が伝わることから、この読み聞かせの価値は大きいなど、改めて感じたところでした。

心から感謝申し上げます。

また、なかよし学級2、3、4組のみならず、亀川小学校の特別支援学級の方にも読み聞かせをしに行きました。一生懸命練習して臨みました。練習通りできたと報告を聞いてうれしく思いました。

Lunch Meeting(ランチミーティング) 生徒会、動いています!

もう3回実施しました。1回目は、私から、「どんどん新しいアイデアを生かして活動を活性化してほしい」ということを伝えました。2回目、3回目は生徒会の本部役員の生徒たちから、ランチミーティングをしたい旨の要望を言ってきてくれました。服装や頭髪のチェックをどうやるか、髪型の基準を明確にしたいなど、自分たちの手できちんとしたいという思いを感じました。この意欲が大変うれしかったです。

